

ファミリーウォーク'87は 八ヶ岳を歩きました。

本社



7月26日朝、登壇の徴候を見せはじめた雲が雨を2台のバスに分乗した総勢78名は、八ヶ岳へと向かいました。

夏休み最初の週末とあって、中央高速道路は沢山能仁組の車でいっぱいでしたが、多岐路で降った標高1500mの美濃川河口に到着。2200mに位置する赤倉鉱泉まで3時間半程の登りに心地良い(？)汗を流しました。

途中空模様は怪しくなりましたが、雨は山小屋でくつろいでいる時にきました。なんと心掛の良かったことでしょうか。

翌朝は登山組の4時半起床から始まりましたが、それぞれが体力と趣味に合わせ、登山、ハイキング、スケッチと、山小屋の主人の言による「インシーズン初めての「上天気」を楽しみました。



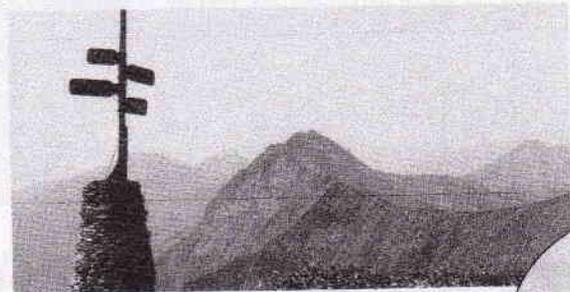
赤岳には28名が挑戦し全員無事登頂を果たしました。昨年の「しよつわしえる」で紹介された山頂小屋に設置された昭和アーコーラの太陽電池を確認し、ファミリーウォーク登頂記念にと、昭和アーコーラから託された太陽電池時計を寄贈いたしました。(佐坂 佳孝)

シェルフラッグ谷川岳に翻る

本社



昭和シェル様御一行、全員



山頂の遊標



谷川岳山頂で

今年は夏がいつ訪れたか覚えていませうか？ファミリーウォークに参加された方は、忘れることはないでしょう。7月30日、ファミリーウォークの当日だったのですから。この日、関東地方にようやく梅雨明け宣言が出されました。

総勢91人が乗った2台のバスで雲が関を出発した頃は、また前夜の雨の名残で空模様はいまひとつでしたが、バスが進むにつれ夏の陽が差し始めたのです。目的地の谷川岳の麓に着く頃は、まさに真夏でした。

ちなみに谷川岳地方の測候所の統計によると、谷川岳で7月中の快晴はたったの一日だけと

のことで、前日までの雨はこの日を晴れにするために降っていったくれたようなものでした。参加者全員が自分の行いの良さが上天気と呼んだものと、それぞれに得意顔でした。

湯檜谷川沿いに軽いハイキングをして全員で谷川岳を「魔の山」として有名にした一の倉沢を見に行きました。上郡を雲の中に隠した、そそり立った岩壁を眺め、同田の岩壁にはめ込まれた無数の遺棄者のレリーフを見て皆口数も少なくなり、何とも言えぬ感慨に打たれたようでした。

翌31日も快晴、東洋一のロープウェイで天神平まで登り、敢

策、スケッチにとそれぞれに楽しみました。谷川岳頂上へは43人が挑戦し、全員登頂を果たしました。「魔の山」はこの日、心地良い涼風と、可憐に咲くニッコウキスゲの花をもって我々心掛けの良い者たちを迎えてくれました。

2日間の「奇跡的」な天候に恵まれ、また充分にスペースに残っている剋霊碑の石板に、誰一人名を書き込まれることの無かった幸せに帰りのバスで飲んだビールは格別の味がしました。(シェル興産天然ガス部 佐坂佳孝)

佐坂佳孝